

愛知県主要農作物奨励品種審査会議 会議録

1 日時

令和5年8月18日（金） 午後2時から午後2時40分まで

2 場所

愛知県自治センター6階 602会議室

3 出席者（敬称略）

構成員（代理含む） 9名

（愛知県米穀販売事業者協議会 伊藤稔（代理）、名古屋大学農学国際教育研究センター教授 犬飼義明、東海農政局生産部生産振興課長 岡本雅司、愛知県経済農業協同組合連合会米穀部農産販売課長 中村隆志（代理）、愛知県米麦振興協会次長 原田好規（代理）、愛知県農業協同組合中央会営農・くらし支援部長 伴敬介、生活協同組合コープあいち参与 平光佐知子、愛知県農業水産局長 鈴木希明、愛知県西三河農林水産事務所農業改良普及課長 鬼頭功）

4 傍聴者

なし

5 議事等

（事務局）

ただいまから愛知県主要農作物奨励品種審査会議を開催します。開催に先立ち、農業水産局の鈴木局長より御挨拶申し上げます。

（農業水産局長）

本日は、お忙しい中、御出席いただきありがとうございます。会議開会にあたり、一言挨拶を申し上げます。

愛知県では、本県の自然条件等に適する稲・麦・大豆の主要な農作物の優良な品種を「奨励品種」として決定して、種子の生産・供給を一体的に取り組んでおります。現在、水稲17品種、小麦2品種、大豆1品種が本県の奨励品種として採用されております。

これまで奨励品種制度は、主要農作物種子法に基づいて実施されてきましたが、行政の力に民間の力も加えて、需要に応じた種子の供給を図るという観点から、平成30年4月に法律が廃止されております。本県では、令和2年度に新たに制定した「主要農作物の品種の開発並びに種子の生産及び供給に関する条例」に基づき、県の責務として、主要農作物の品種の開発と、種子の生産・供給に取り組んでいるところです。

本日の審査会議では、農業総合試験場と愛知県経済農業協同組合連合会が共同で開発いたしました稲の品種「愛知 135 号」の奨励品種への採用と、「あさひの夢」、「ゆめまつり」の廃止について御審査いただきます。

なお、本日は、条例の制定後、最初に開催される審査会議となります。幅広い見地からご意見を頂くことを目的に、愛知県米穀販売事業者協議会伊藤様、生活協同組合コープあいち平光様、名古屋大学犬飼様を始め様々なお立場の皆様に構成員として御出席頂いております。委員のみなさまにおかれましては、活発な御審査をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、県としましては引き続き、生産者及び実需者のニーズに合致した優良な品種を育成し、その積極的な普及により本県農業の振興を図るとともに、消費者の皆様への食の安心・安全に対する期待に応えてまいりたいと思っておりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

(事務局)

本日の会議は、多くの方にご出席いただいております。本来なら、自己紹介していただくところですが、名簿と配席図の配布に変えさせていただきます。

本審査会議は、「愛知県主要農作物奨励品種審査会議開催要領」に基づき開催するものです。開催要領第4の2の規定により、議長は農業水産局長が務めることとなっておりますので、鈴木局長よりよろしくお願いいたします。

(議長)

それでは、議長を務めさせていただきます。御協力をよろしくお願いいたします。まず、審査に入る前に議題の(1)奨励品種の審査について、事務局から説明をお願いします。

○ 議題(1) 奨励品種の審査について

(事務局)

[資料1により説明]

(議長)

ただいまの説明に対しまして、皆様のご意見、ご質問をお願いいたします。

ご意見、ご質問がないようですので、議題の(2)水稲奨励品種の決定及び廃止について、審査いただきます。なお、質疑はすべての説明を終えてから一括して行いますので、よろしくお願いいたします。それでは事務局から説明をお願いします。

○ 議題(2) 水稲奨励品種の決定及び廃止について

(事務局)

水稲奨励品種の決定及び廃止について、ご説明させていただきます。資料2-1をご覧ください。

ください。

[資料2-1により説明]

ここで「愛知135号」の育成機関である農業総合試験場より、奨励品種決定調査の成績について説明をいたします。

(農業総合試験場)

[資料2-2により説明]

○ 質疑応答

(議長)

ただいまの提案に対しまして、皆様のご意見、ご質問をお願いいたします。

まず、有識者のお立場から、名古屋大学の犬飼様からご意見ございませんか。

(名古屋大学 犬飼教授)

はい。ご説明ありがとうございました。最初の方のスライドにあったように、早生品種が避けられる傾向にあり、ここに変わるようなものをつくるということはとても大事な仕事になっているということがよくわかったが、すごく短期間にここまで優れたものができたということに感銘を受けました。愛知県経済農業協同組合連合会との共同研究ということで、いろいろな努力とか育種センスに感銘を受けながら聞いていました。

少しだけ質問させていただきたいのですが、「愛知135号」は「あさひの夢」や「ゆめまつり」より大粒になるということでしたが、これまで人気の高い「あいちのかおり SBL」と同じような大きさということなので、そこは問題にならないということでしょうか。

(農業総合試験場)

そのとおりです。「あいちのかおり SBL」は大粒であり、それが売りとなっています。「愛知135号」は「あいちのかおり SBL」を早生化して高温登熟性を付けたものですので、形としては「あいちのかおり SBL」とよく似た形となり、大粒となります。それは今まで実需者にかなり評価されてきているため、同じように評価されるものではないかと考えています。

(名古屋大学 犬飼教授)

「あさひの夢」や「ゆめまつり」の性質に高温耐性を付けるより、より良いものができるかと考えていいのですよね。

(農業総合試験場)

そう考えております。

(名古屋大学 犬飼教授)

他にもいくつか質問させていただきたいと思います。もともと「あ系 891」が高温登熟性という性質を持っていたということだったのですが、これは愛知県で長年にわたって保存されてきた遺伝資源ということでしょうか。

(農業総合試験場)

そうですね。1999 年ぐらいに高温登熟が非常に問題となった非常に暑い年があり、品質が低下したと騒ぎ始めたのですが、その時に高温登熟に強い品種はあるのかということで、愛知県にストックしてある遺伝資源から高温に強い品種を探し、それを掛け合わせてきたものが「あ系 891」になります。

(名古屋大学 犬飼教授)

それは、もともと強かったのは前から分かってたのか、2016 年ぐらいに調べたら出てきたのでしょうか。

(農業総合試験場)

2016 年は最終的にその母本と父本を掛けた年です。その前から 1 番基となる母本は「TS-3」という、外国稲の血が強い系統なんですけど、それが高温に強いというのがわかったため、それに日本稲を掛け合わせて、日本稲らしくしてきて、できたものが「あ系 891」になります。それを基にして「愛知 118 号」と掛け合わせてきたものとなります。

(名古屋大学 犬飼教授)

今回作られた品種には全然問題ないと思っているのですが、「あ系 891」がどのぐらいの収量性かわからないので、今回できたものとの比較は難しいかもしれないですが、「愛知 135 号」と「あ系 891」を比べて、まだまだ高温登熟性を高める可能性があるのか教えてください。「あ系 891」の方がもっと強いのか、だいたい持っている高温耐性は引き継げたのか。

(農業総合試験場)

熟期が違うため直接的に比較できないかもしれないが、高温登熟性はそこまで落ちていないと思うので、同じぐらいの強さではないかと思っています。ただ、直接比較をしていないので、現時点では何とも言えないです。

(名古屋大学 犬飼教授)

8枚目のスライドにあったように、「なつほのか」という品種がもともと強いのですよね。それに比べても勝るくらいのものできたということですよね。

(農業総合試験場)

「なつほのか」は違う遺伝資源ですが、愛知県が持っている高温登熟性の母本はおそらく日本で一番強いのではないかと自負しており、その子供であるので、おそらく他にはない強さではないかと思っています。

(名古屋大学 犬飼教授)

データを見させていただき、本当に強いものが、いいものができたと私も思いました。これで作期の分散ができるの良いと感じました。ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございました。その他にご意見はございますでしょうか。

せっかくの機会ですので、消費者のお立場として、コープあいちの平光様からご意見ございませんか。

(コープあいち平光参与)

本日はこのような貴重な場をいただきありがとうございます。消費者の視点ということで、非常に簡単な質問ばかりで恐縮ですが、ご質問させていただきます。

最初のご説明の、資料2-1の2枚目にある、作付計画が2025年から2028年にかけて1000 (ha) から1500 (ha)、2500 (ha) と増やしていく計画とありますが、廃止される方の「あさひの夢」や「ゆめまつり」は三河地方で生産が多かったといまお聞きしましたが、今度の「愛知135号」は、試験では2020年から2022年まで、尾張から三河といろいろなところで試験をされていますが、だいたいどのようなところで増やしていこうというような具体的な計画はあるのでしょうか。

(農業総合試験場)

「あさひの夢」「ゆめまつり」につきましても、三河地方も生産が多いですが、県内平たん地ではだいたいどこも作られているような状況ですので、作業分散の観点から言っても、「愛知135号」は平たん地全体で広めていきたいと考えています。

2028年に2500haとありますが、だいたい今の県全体の水稻面積が26000haくらいだったと思いますので、そうすると2500haでもだいたい10%くらい、1割くらいしかないものですから、将来的にはもう少し増やしていきたいと考えています。

(コープあいち平光参与)

ありがとうございます。例えば若手農業者に積極的に働きかけるとか、いま耕作放棄地も増えており、稲作をされる方がどんどん減ってきていることを私たちも懸念しております、そういった方々への働きかけを積極的にしていく考えとかはまだまだこれからのお話でしょうか。

(農業総合試験場)

そうですね。それはこれからの話とはなるかと思いますが、若手に限らず、皆さんに生産してもらえるよう、農業改良普及課や農協さんなど関係機関を通じて広めていきたいと思っています。

(コープあいち平光参与)

ありがとうございます。それからもう一点ですが、気候変動により、今年の夏もそうですが、人間でも参ってしまうくらいの高温になっており、それが稲にも悪影響を及ぼしているということで、高温障害やカメムシ被害もひどいということを聞いています。斑点米になると、見た目も食味も落ちるということで非常に深刻な問題ではないかと思っています。9ページの病害虫抵抗性のところで、カメムシについての記載がありませんがどこかに相当するものなのか、抵抗性があるのか。対策は大丈夫な品種なのでしょう。

(農業総合試験場)

カメムシについては従来品種と変わらないくらいとなってしまう。ただ、今後の話ではあるが、愛知135号にもカメムシ抵抗性を付けていこうということで、育種を始めています。愛知県にストックしている種子の中からカメムシにも強い品種・系統が出てきたため、それを掛け合わせて新しい品種の育成を始めているところです。

(コープあいち平光参与)

そうですね。それが成功して、新しい品種ができれば、また審査会議で審査されて、世に出ていくかもしれないということですね。食味も大事かと思っていますので、それはまだ道のりがあるということですね。

(農業総合試験場)

そうですね。やはり基となっている母本が外国稲ですから、なかなか食味が上がらないものである、それを打破していきたいと取り組んでいます。

(コープあいち平光参与)

ありがとうございます。たまたまですが、愛知県農業総合試験場の外部評価委員も務めさせていただき、皆様の不断の努力とレベルの高さには本当にいつも敬服しているとこ

ろです。私たち消費者の知らないところで、こうした研究や審査をされており、これから気候変動でどんどん環境は変わってくると思いますが、そうした中で私たち消費者の食卓の安全・安心も守って頂くこと、それから生産者の皆さんの負担もどんどん増えていくと思いますので、こうした品種開発により軽減されて、生産者の皆さんの気持ちの上で、明るい未来が期待できるような品種に変わっていくといいなと思っています。本日は審査会議にお呼びいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

(農業水産局長)

過分なご発言をいただきましてありがとうございました。

先ほど普及のお話も出ましたので、産地指導とともに現地調査に協力されている西三河農業改良普及課の鬼頭課長から、ご意見はありませんか。

(西三河農業改良普及課長)

よろしく申し上げます。現場の動きをお伝えしたいと思います。

西三河農業改良普及課では、管内の農家の方々にご協力いただきまして、「愛知 135 号」の栽培試験を実施しております。その結果ではございますけれども、「あさひの夢」と比べまして、収量、外観品質が大変優れておりまして、特に白未熟粒の発生が少なく、生産者の方々から高い評価をいただいているところでございます。

また、西三河地域は「コシヒカリ」と「あいちのかおり」の品種構成が偏っているということで、この「愛知 135 号」の導入によりまして、作業分散も期待できるということで、これらのことから、現行の両品種の転換に加えまして、「あいちのかおり」からの転換も検討しながら「愛知 135 号」の普及導入を図っていく方針でございます。

現在、農業改良普及課としましては、農業総合試験場、JAあいち経済連さんと連携いたしまして、栽培マニュアルの作成に取り組んでいるところでございます。奨励品種に採用されましたら、今後の指導にそれを活用していく予定でございます。

(議長)

貴重なご意見をいただきありがとうございました。その他、ご意見、ご質問があればお願いします。特によろしいでしょうか。

それでは、提案のとおり、「愛知 135 号」を 2023 年度に本県奨励品種に採用し、「あさひの夢」「ゆめまつり」を 2024 年度に本県奨励品種から廃止することとしてよろしいでしょうか。

特に異論がないようですので、本県奨励品種に「愛知 135 号」の採用、「ゆめまつり」及び「あさひの夢」の廃止を決定します。

(議長)

次に、(3) その他、について、何かございますか。

○ 議題(3) その他

(事務局)

事務局から一点ございます。本日の会議結果につきましては、事務局で取りまとめ、後日愛知県のホームページへ掲載させていただきますのでご了承ください。

(議長)

その他、全体を通じて何かございますでしょうか。特にないようですので、これをもちまして、議長の務めを終えさせていただきます。御協力ありがとうございました。

(事務局)

委員の皆様におかれましては、大変熱心に御審査いただきありがとうございました。これもちまして、愛知県主要農作物奨励品種審査会議を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。